

# 3

## 県民生活



## 3-01 持ち家比率 ▶▶▶ 1位 葉山町

**指標** 2023年10月1日現在の神奈川県のある住宅数は427万1500戸であり、このうち持ち家の比率は58.71%です。

県内市町村で持ち家比率が最も高いのは葉山町で86.53%、最も低いのは川崎市で46.11%です。

なお、本統計では市区及び人口1万5千人以上の町村について内訳が公表されているため、人口1万5千人未満の県内6市町村については内訳が公表されていません。

**この統計は** [令和5年住宅・土地統計調査]

**用語** 持ち家

住宅・土地統計調査において、人が居住する住宅の所有の関係は、「持ち家」「借家」に区別されます。

持ち家とは、居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅で、最近建築、購入又は相続した住宅で登記がまだ済んでいない場合やローンなどの支払が完了していない場合も「持ち家」として扱います。また、親の名義の住宅に住んでいる場合も「持ち家」として扱います。

## 3-02 持ち家住宅の延べ面積(1住宅当たり) ▶▶▶ 1位 大井町

**指標** 2023年10月1日現在の神奈川県のある持ち家の1住宅当たり延べ面積は97.87㎡です。

県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ床面積が最も大きいのは大井町で122.82㎡、最も小さいのは川崎市で89.94㎡です。

**この統計は** [令和5年住宅・土地統計調査]

**用語** 住宅の延べ面積

人が居住する住宅における、各住宅の床面積の合計をいいます。この延べ面積には、居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関、台所、トイレ、浴室、廊下、階段、農家の土間、押し入れなどや店、事務室など営業用に使っている部分の面積も含めます。ただし、別棟の物置・車庫の面積や商品倉庫・作業場など営業用の附属建物の面積は含めません。

アパートやマンションなど共同住宅の場合は、共同で使っている廊下、階段などの共用部分の面積を除いたそれぞれの住宅の専用部分の床面積としています。

### 統計情報 住宅・土地統計調査

令和5年住宅・土地統計調査[総務省統計局] 公表日:令和6年9月25日 公表周期:5年ごと

我が国の住宅とそこに居住する世帯の居住状況、世帯の保有する土地等の実態を把握し、その現状と推移を明らかにする統計調査です。この調査の結果は、住生活基本法に基づいて作成される住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画、立案、評価等の基礎資料として利用されています。

本調査は、住宅数、空き家数、建物の構造や建て方、建築の時期などの結果を提供しています。また、全国、都道府県だけでなく、市、区及び人口1万5千人以上の町村の結果も提供しています。

## 3-03 / 3-04 一戸建住宅比率 ▶▶▶ 1位 葉山町 共同住宅比率 ▶▶▶ 1位 川崎市

**指標** 2023年10月1日現在の神奈川県のある住宅数に占める一戸建住宅の比率は40.74%、共同住宅の比率は56.98%です。県全体では共同住宅の割合の方が高くなっています。

県内市町村で一戸建住宅比率が最も高いのは葉山町で83.80%です。一方、共同住宅比率が最も高いのは川崎市で73.98%です。

県内地域別にみると、横浜地域、川崎地域、県央地域では共同住宅比率の方が高くなる一方、その他の地域では一戸建住宅比率が高くなっています。

**この統計は** [令和5年住宅・土地統計調査]

**用語** 一戸建、共同住宅

住宅・土地統計調査における住宅の建て方には、「一戸建」「長屋建」「共同住宅」「その他」の4分類があります。

一戸建は、一つの建物が1住宅であるものをいいます。

共同住宅は、一棟の中に二つ以上の住宅があり、廊下・階段などを共用しているものや二つ以上の住宅を重ねて建てたものです。1階が店舗で、2階以上に二つ以上の住宅がある建物も含まれます。

## 3-05 空き家比率 ▶▶▶ 1位 湯河原町

**指標** 2023年10月1日現在の神奈川県のある総住宅数に占める空き家の比率は9.80%です。

県内市町村で空き家比率が最も高いのは湯河原町で34.15%、最も低いのは伊勢原市で6.96%です。

**この統計は** [令和5年住宅・土地統計調査]

**用語** 空き家

住宅・土地統計調査における空き家とは、ふだん人が居住していない住宅のうち、「賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家」「賃貸用の空き家」「売却用の空き家」「二次的住宅(別荘等)」の4分類をいいます。

賃貸・売却用及び二次的住宅を除く空き家とは、賃貸用の空き家、売却用の空き家及び二次的住宅以外の人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅などをいいます。(空き家の種類の判断が困難な住宅を含む。)

市町村・地域名	持ち家比率		持ち家住宅の延べ面積 (1住宅当たり)		一戸建住宅比率		共同住宅比率		空き家比率	
	2023年 値	3-01 順位	2023年 値	3-02 順位	2023年 値	3-03 順位	2023年 値	3-04 順位	2023年 値	3-05 順位
神奈川県	58.71		97.87		40.74		56.98		9.80	
横浜市	58.14	24	94.00	25	35.59	26	62.51	2	8.68	21
川崎市	46.11	27	89.94	27	24.18	27	73.98	1	8.97	19
相模原市	60.25	21	97.22	22	46.57	21	51.48	6	8.18	24
横須賀市	73.68	10	98.96	20	58.50	16	39.11	12	15.55	4
平塚市	64.81	19	105.84	16	54.25	18	42.14	10	11.70	11
鎌倉市	71.82	12	116.24	6	60.41	14	36.94	14	10.80	14
藤沢市	59.05	23	101.30	19	44.10	24	53.19	4	9.61	15
小田原市	64.23	20	115.51	7	62.16	13	34.65	15	12.37	10
茅ヶ崎市	69.40	13	105.40	18	57.83	17	37.45	13	9.16	18
逗子市	78.01	4	108.79	13	65.75	9	31.46	18	17.13	3
三浦市	77.15	5	107.81	15	69.95	7	27.96	20	18.92	2
秦野市	66.96	16	108.16	14	58.60	15	39.21	11	14.71	5
厚木市	59.33	22	105.46	17	45.90	22	51.15	7	12.45	9
大和市	53.83	26	94.74	24	40.12	25	56.20	3	9.45	16
伊勢原市	56.39	25	112.27	10	53.11	19	43.86	9	6.96	27
海老名市	67.38	15	96.36	23	47.93	20	50.16	8	9.18	17
座間市	65.44	18	90.69	26	45.59	23	52.57	5	11.05	13
南足柄市	75.28	7	122.27	2	78.88	4	15.03	25	11.34	12
綾瀬市	72.87	11	98.47	21	67.30	8	29.96	19	8.08	25
葉山町	86.53	1	120.68	3	83.80	1	13.63	26	14.33	6
寒川町	68.91	14	110.10	11	63.89	11	31.97	17	7.86	26
大磯町	81.25	2	114.17	8	80.22	3	16.16	24	13.62	8
二宮町	75.46	6	119.56	4	75.72	5	20.00	23	13.77	7
中井町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大井町	78.18	3	122.82	1	80.92	2	11.42	27	8.74	20
山北町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
開成町	73.81	9	116.94	5	64.67	10	27.15	22	8.42	22
箱根町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真鶴町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯河原町	74.04	8	112.62	9	62.89	12	33.64	16	34.15	1
愛川町	65.97	17	109.62	12	70.05	6	27.27	21	8.32	23
清川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

横浜地域	58.14	5			35.59	5	62.51	2	8.68	6
川崎地域	46.11	6			24.18	6	73.98	1	8.97	5
横須賀三浦地域	74.32	1			61.38	2	36.15	5	14.67	1
県央地域	60.87	4			47.04	4	50.55	3	9.33	4
湘南地域	63.94	3			53.24	3	43.44	4	10.48	3
県西地域	67.87	2			65.58	1	30.28	6	14.33	2

3-01~3-05 令和5年住宅・土地統計調査

注釈

3-01~3-05

- 1)2023年10月1日現在の値。
- 2)人口1万5千人未満の市町村は内訳が公表されていないため、表中では「-」としている。

3-01

- 1)持ち家比率=持ち家住宅数/居住世帯のある住宅数

3-03

- 1)一戸建住宅比率=一戸建住宅数/居住世帯のある住宅数

3-04

- 1)共同住宅比率=共同住宅数/居住世帯のある住宅数

3-05

- 1)空き家比率=空家数/総住宅数(居住世帯のある住宅、居住世帯のない住宅の計)

3-06 / 3-07 / 3-08 / 3-09  
**新設住宅着工戸数 ▶▶▶ 1位 横浜市**

**指標** 2023年度の神奈川県の新設住宅着工戸数は6万4766戸です。内訳をみると、持家が1万1120戸、貸家が2万5501戸、分譲住宅が2万8033戸となっています。

県内市町村で新設住宅着工戸数が最も多いのは横浜市で2万6610戸です。内訳をみると、持家が3391戸、貸家が1万185戸、分譲住宅が1万2984戸となっています。

**この統計は** [神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)]

**用語** 新設住宅着工戸数

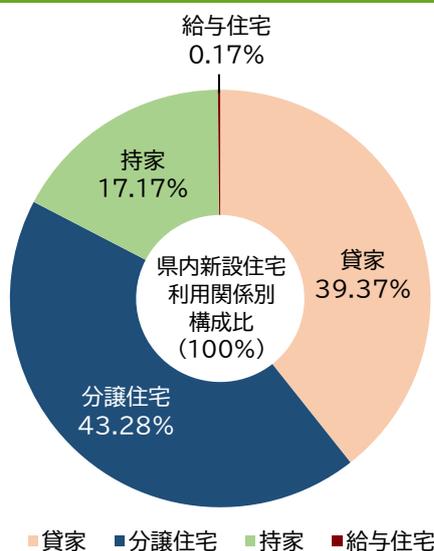
住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む。)、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られる工事を「新設」といいます。

本統計では、新設住宅を利用関係別、建て方別、構造別、建築主別等の視点で分類して集計しています。

利用関係別では、持家、貸家、給与住宅、分譲住宅の4つに分類されています。

- ・持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの。
- ・貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの。
- ・給与住宅：会社、官公署、学校等がその社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの。
- ・分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

**県内新設住宅着工戸数 利用関係別内訳(2023年度)**



**この統計は** [神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)]

**統計情報** 神奈川県内建築着工統計

神奈川県建築着工統計(令和5年度計)  
 [県国土整備局建築指導課]  
 公表周期:毎月  
 国土交通省が行っている建築着工統計調査の神奈川県分を集計したものです。

**統計情報** 建築着工統計調査

建築着工統計調査(令和5年度計)[国土交通省]  
 公表周期:毎月  
 建築基準法第15条第1項の規定により届出が義務づけられている建築物を対象とする統計調査で、毎月調査結果を公表しています。  
 建築物の着工状況について建築主別の建築物の数、床面積の合計、工事費予定額などの結果を、全国、都道府県、市区町村の地域で提供しています。

3-10 / 3-11  
**都市公園数 ▶▶▶ 1位 横浜市**  
**都市公園面積(1人あたり) ▶▶▶ 1位 愛川町**

**指標** 2022年3月31日現在の神奈川県都市公園数は7709箇所です。都市公園面積は5304.01haで、1人当たりの都市公園面積は5.75㎡です。

県内市町村で都市公園数が最も多いのは横浜市で2709箇所です。

県内市町村で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのは愛川町で24.88㎡です。県内地域で1人あたり都市公園面積が最も大きいのは横須賀三浦地域で14.91㎡です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 県都市公園課調]

**用語** 都市公園

一般に「公園」と呼ばれているものは都市公園に代表される営造物公園と、国立公園等自然公園に代表される地域制公園とに大別されます。

都市公園とは、都市公園法(昭和31年法律第79号)第2条に定義されており、その内容は次のとおりです。

- ・地方公共団体が都市計画施設(都市計画法に基づき定められた施設)として設置する公園又は緑地。
- ・地方公共団体が都市計画区域内に設置する公園又は緑地。
- ・国が一の都府県の区域を越えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地。
- ・国が国家的な記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、閣議の決定を経て設置する都市計画施設である公園又は緑地。

市町村・地域名	新設住宅 着工戸数		うち 持家数		うち 貸家数		うち 分譲住宅数		都市公園数		都市公園面積 (1人当たり)	
	2023年 値	3-06 順位	2023年 値	3-07 順位	2023年 値	3-08 順位	2023年 値	3-09 順位	2022年 値	3-10 順位	2022年 値	3-11 順位
神奈川県	64,766		11,120		25,501		28,033		7,709		5.75	
横浜市	26,610	1	3,391	1	10,185	1	12,984	1	2,709	1	4.93	22
川崎市	11,611	2	1,340	2	5,456	2	4,810	2	1,172	2	3.96	25
相模原市	5,390	3	909	3	1,657	3	2,807	3	628	3	4.95	21
横須賀市	1,962	6	483	6	922	6	552	8	539	4	17.30	6
平塚市	1,820	7	464	7	735	7	621	6	282	6	5.51	17
鎌倉市	1,201	9	349	9	396	13	453	9	255	7	9.87	10
藤沢市	3,260	4	686	4	1,303	4	1,268	4	316	5	5.30	19
小田原市	1,187	11	415	8	406	12	365	11	154	12	5.45	18
茅ヶ崎市	1,636	8	539	5	473	10	616	7	180	11	3.36	28
逗子市	333	18	117	17	113	17	103	20	85	15	15.86	7
三浦市	334	17	54	25	16	24	262	14	64	17	9.17	11
秦野市	1,193	10	315	10	585	9	292	13	200	10	6.58	16
厚木市	1,102	12	235	12	636	8	231	15	240	9	8.17	13
大和市	2,202	5	292	11	1,062	5	848	5	243	8	3.28	29
伊勢原市	661	15	219	13	240	15	200	16	149	13	3.93	26
海老名市	1,047	13	199	15	417	11	431	10	76	16	4.70	24
座間市	964	14	213	14	387	14	364	12	43	19	4.91	23
南足柄市	164	22	69	21	15	25	80	21	28	21	5.12	20
綾瀬市	603	16	174	16	224	16	196	17	133	14	6.98	15
葉山町	122	25	86	20	11	28	24	27	7	29	19.49	4
寒川町	318	19	110	18	80	18	127	19	42	20	3.81	27
大磯町	167	21	95	19	23	22	49	23	54	18	10.94	8
二宮町	114	26	58	24	25	21	31	25	17	24	8.42	12
中井町	53	29	33	27	12	27	7	30	3	31	24.57	2
大井町	125	24	41	26	14	26	70	22	4	30	0.28	32
松田町	61	28	26	29	9	29	26	26	9	27	7.18	14
山北町	26	31	12	31	-	-	14	28	8	28	24.44	3
開成町	140	23	69	21	22	23	49	23	13	25	1.68	31
箱根町	67	27	22	30	34	19	10	29	13	25	17.63	5
真鶴町	11	32	8	32	-	-	2	32	1	32	3.11	30
湯河原町	46	30	29	28	9	29	7	30	20	23	10.72	9
愛川町	230	20	62	23	34	19	134	18	22	22	24.88	1
清川村	6	33	6	33	-	-	-	-	-	-	-	-

横浜地域	26,610	1	3,391	1	10,185	1	12,984	1	2,709	1	4.93	5
川崎地域	11,611	2	1,340	4	5,456	2	4,810	3	1,172	4	3.96	6
横須賀三浦地域	3,952	5	1,089	5	1,458	5	1,394	5	950	5	14.91	1
県央地域	11,544	3	2,090	3	4,417	3	5,011	2	1,385	2	5.74	3
湘南地域	9,169	4	2,486	2	3,464	4	3,204	4	1,240	3	5.18	4
県西地域	1,880	6	724	6	521	6	630	6	253	6	6.74	2

3-06~3-09 神奈川県内建築着工統計(令和5年度計)、3-10~3-11 県勢要覧2023(令和5年度版)

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)

[県統計センター]

公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年

神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野にわたる統計を収録したものです。

注釈

3-06

1) 持家、貸家、分譲住宅のほか、給与住宅を含む。

3-10~3-11

1) 2022年3月31日現在の値。

2) 集計は国土交通省「都市公園等整備現況調査」に準じる。

3) 清川村は、全域が丹沢大山国定公園及び県立丹沢大山自然公園に指定され、全域が都市計画法の都市計画区域外となっている。

## 公共図書館蔵書数 ▶▶▶ 1位 横浜市 3-12

**指標** 2022年度末日現在、神奈川県には78の公共図書館があり、県立図書館2館のほか、県内すべての市町村に市町村立図書館があります。

2022年度末日現在の神奈川県内の公共図書館の蔵書数は1824万4117冊です。

県内市町村で公共図書館蔵書数が最も多いのは横浜市で408万5698冊です。横浜市には県内最多となる18の市立図書館があります。公共図書館蔵書数が最も少ないのは開成町で3万1871冊です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

## 個人貸出登録者数 ▶▶▶ 1位 横浜市 3-13

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県内の公共図書館の個人貸出登録者数は290万4840人です。

県内市町村で個人貸出登録者数が最も多いのは横浜市で73万7403人です。

県内地域別にみると、個人貸出登録者数が最も多いのは県央地域で74万1683人です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

## 個人貸出冊数(1人当たり) ▶▶▶ 1位 二宮町 3-14

**指標** 2022年度の神奈川県内の公共図書館の1人当たり個人貸出冊数は3.86冊です。

県内市町村で1人当たり個人貸出冊数が最も多いのは二宮町で7.60冊、最も少ないのは三浦市で0.76冊です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 神奈川県図書館協会調]

## 理容・美容所数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 松田町 3-15

**指標** 2021年6月1日現在の県内の理容・美容所数は1万1884所で、人口1000人当たりでは1.29所となります。

県内市町村で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは松田町で2.35所、最も少ないのは清川村で0.33所です。理容・美容所数が最も多いのは横浜市(4289所)ですが、人口1000人当たりでは1.13所で県内第31位となります。

県内地域で人口1000人当たりの理容・美容所数が最も多いのは県西地域で1.90所です。

**この統計は** [令和3年経済センサス-活動調査]

**用語** 理容・美容所

ここで掲載した理容・美容所数は、経済センサス-活動調査によって理容業、美容業に分類された事業所数です。



### 統計情報 経済センサス-活動調査

令和3年経済センサス-活動調査 [総務省・経済産業省]

公表日:速報令和4年5月31日~順次公表 公表周期:5年ごと

経済センサスは、事業所及び企業の経済活動の状態を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としています。

経済センサスは、事業所・企業の基本的構造を明らかにする「経済センサス-基礎調査」と、事業所・企業の経済活動の状況を明らかにする「経済センサス-活動調査」の二つから成り立っています。

市町村・地域名	公共図書館蔵書数		個人貸出登録者数		個人貸出冊数 (1人当たり)		理容・美容所数 (人口1000人当たり)	
	2022年 値	3-12 順位	2022年 値	3-13 順位	2022年 値	3-14 順位	2021年 値	3-15 順位
神奈川県	18,244,117冊		2,904,840人		3.86冊		1.29所	
横浜市	4,085,698	1	737,403	1	3.06	27	1.13	31
川崎市	1,929,836	2	372,042	2	4.06	19	1.00	32
相模原市	1,454,327	3	147,953	7	3.12	26	1.48	20
横須賀市	786,300	5	238,838	3	3.51	21	1.74	10
平塚市	726,837	6	83,851	11	4.66	13	1.61	15
鎌倉市	572,028	9	70,997	12	7.26	2	1.69	12
藤沢市	1,264,220	4	133,692	8	6.74	5	1.42	23
小田原市	395,858	14	30,312	15	3.30	24	1.92	6
茅ヶ崎市	498,111	11	153,844	6	4.15	18	1.45	21
逗子市	232,481	19	40,751	14	7.05	3	1.73	11
三浦市	66,851	28	12,084	25	0.76	33	2.16	3
秦野市	518,987	10	58,072	13	3.22	25	1.64	14
厚木市	690,368	7	165,915	5	4.29	17	1.52	17
大和市	603,986	8	111,893	9	5.09	10	1.30	26
伊勢原市	309,146	15	26,745	17	5.09	9	1.43	22
海老名市	452,165	12	172,583	4	5.79	6	1.49	19
座間市	415,935	13	105,719	10	6.89	4	1.28	27
南足柄市	229,823	20	19,467	21	3.33	23	1.83	8
綾瀬市	241,057	16	17,609	24	3.99	20	1.27	28
葉山町	164,442	22	27,880	16	5.59	8	1.20	30
寒川町	237,026	18	18,512	22	5.62	7	1.53	16
大磯町	238,410	17	26,585	18	4.66	14	1.23	29
二宮町	222,548	21	22,348	20	7.60	1	1.93	5
中井町	47,367	31	528	33	2.66	28	1.42	24
大井町	89,336	24	5,375	29	4.62	15	1.52	18
松田町	74,391	26	6,523	28	2.58	29	2.35	1
山北町	64,543	29	8,257	27	4.82	11	1.87	7
開成町	31,871	33	10,781	26	1.97	30	1.68	13
箱根町	83,551	25	5,361	30	1.08	32	1.77	9
真鶴町	54,040	30	4,607	31	3.40	22	2.11	4
湯河原町	117,507	23	25,468	19	4.49	16	2.33	2
愛川町	72,491	27	17,643	23	1.64	31	1.31	25
清川村	45,266	32	2,368	32	4.67	12	0.33	33
(参考)県立図書館	1,227,314		22,834		-		-	

横浜地域	4,085,698	1	737,403	2	3.06	6	1.13	5
川崎地域	1,929,836	4	372,042	5	4.06	4	1.00	6
横須賀三浦地域	1,822,102	5	390,550	4	4.69	2	1.73	2
県央地域	3,975,595	3	741,683	1	4.14	3	1.43	4
湘南地域	4,015,285	2	523,649	3	5.22	1	1.50	3
県西地域	1,188,287	6	116,679	6	3.31	5	1.90	1

3-12～3-14 県勢要覧2023(令和5年度版)、3-15 令和3年経済センサス-活動調査

統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)  
[県統計センター]  
公表日:令和6年3月 公表周期:毎年  
神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの  
各分野にわたる統計を収録したものです。

注釈

3-12～3-13

1)2023年3月31日現在の値。

2)神奈川県は市町村立図書館、県立図書館の総計。

3-14

1)2022年度の公共図書館の個人貸出冊数(神奈川県は市町村立図書館と県立図書館の個人貸出冊数の総計)を、神奈川県人口統計調査の2023年4月1日現在の人口で除したもの。

3-15

1)2021年6月1日現在の値。

2)令和3年経済センサス-活動調査において理容業、美容業に分類された事業所数を、神奈川県人口統計調査の2021年6月1日時点の人口で除したもの。

3-16

登録自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県登録自動車数は270万8839台、人口1000人当たりでは293.73台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは清川村で664.73台で、最も少ないのは川崎市で223.40台です。

県内地域別にみると、人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのは県西地域で383.47台です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

**用語** 登録自動車

登録自動車とは、道路運送車両法の規定による自動車の登録制度の対象となる自動車です。軽自動車、小型特殊自動車及び小型二輪車は含まれません。

3-17

貨物自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県貨物自動車数は29万2326台、人口1000人当たりでは31.70台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの貨物自動車数が最も多いのは清川村で164.05台です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

3-18 / 3-19

普通乗用車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村  
 小型乗用車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県普通乗用車数は129万6794台、人口1000人当たりでは140.62台となります。また、小型乗用車数は102万7619台、人口1000人当たりでは111.43台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの普通乗用車数、小型乗用車数が最も多いのはともに清川村で、普通乗用車数は234.65台、小型乗用車数は220.67台です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

**用語** 普通乗用車、小型乗用車

小型乗用車は全長4.7m以下、全幅1.7m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が660ccを超え2000cc以下のものをいいます。これらの要件を1つでも超えると普通乗用車になります。

3-20

特種用途自動車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 清川村

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県の特種用途自動車数は6万7601台、人口1000人当たりでは7.33台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの特種用途自動車数が最も多いのは清川村で36.15台です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

**用語** 特種用途自動車

特種用途自動車とは、消防車、護送車、医療防疫車、霊柩車、冷蔵冷凍車、タンク車、散水車、架線修理車、クレーン車など主たる目的が特種である自動車であって、その目的遂行に必要な構造、装置を備えるものです。

3-21

小型二輪車数(人口1000人当たり) ▶▶▶ 1位 愛川町

**指標** 2022年度末日現在の神奈川県小型二輪車数は13万8203台、人口1000人当たりでは14.99台となります。

県内市町村で人口1000人当たりの小型二輪車数が最も多いのは愛川町で30.00台です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 関東運輸局神奈川運輸支局登録部門調]

**用語** 小型二輪車

二輪自動車のうち、全長2.5m以下、全幅1.3m以下、全高2.0m以下であり、かつエンジンの総排気量が125ccを超え250cc以下のものを軽二輪自動車といいます。小型二輪自動車は軽二輪車より大きさが大きいもの、総排気量が250cc以上のものをいい、大型オートバイ等が含まれます。

## 統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)  
 [県統計センター]  
 公表日:令和6年3月 公表周期:毎年  
 神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの  
 各分野にわたる統計を収録したものです。

市町村・地域名	登録自動車数 (人口1000人当たり)		貨物自動車数 (人口1000人当たり)		普通乗用車数 (人口1000人当たり)		小型乗用車数 (人口1000人当たり)		特種用途自動車数 (人口1000人当たり)		小型二輪車数 (人口1000人当たり)	
	2022年 3-16		2022年 3-17		2022年 3-18		2022年 3-19		2022年 3-20		2022年 3-21	
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	293.73		31.70		140.62		111.43		7.33		14.99	
横浜市	283.31	31	30.15	21	142.54	27	101.48	32	6.48	24	14.37	28
川崎市	223.40	33	24.84	26	113.67	33	76.21	33	6.41	25	11.82	33
相模原市	314.13	24	38.56	16	138.91	28	126.13	26	8.16	16	15.24	24
横須賀市	304.63	25	25.84	25	137.62	29	132.57	23	6.32	28	20.27	8
平塚市	360.77	15	44.63	10	158.04	15	144.84	18	10.61	12	19.03	12
鎌倉市	284.00	30	13.54	32	150.11	22	114.25	30	4.73	32	15.17	25
藤沢市	300.96	26	27.67	24	146.46	24	118.60	27	6.32	27	15.25	23
小田原市	367.09	14	40.47	13	156.98	16	156.99	10	9.56	14	15.05	26
茅ヶ崎市	292.43	28	23.06	30	144.95	25	117.77	28	5.32	30	16.36	20
逗子市	285.67	29	12.42	33	151.58	21	116.23	29	3.73	33	16.79	18
三浦市	337.42	20	44.03	12	135.05	30	143.14	21	11.31	10	23.53	4
秦野市	335.34	22	23.72	29	152.51	19	150.43	13	6.34	26	16.98	17
厚木市	413.20	6	61.47	7	173.42	8	156.50	12	17.33	7	19.74	11
大和市	282.14	32	31.11	20	127.99	32	112.56	31	6.93	22	12.10	32
伊勢原市	378.11	12	44.53	11	168.67	11	150.39	14	10.94	11	18.02	15
海老名市	325.69	23	40.28	14	142.56	26	132.07	24	8.90	15	13.28	31
座間市	298.16	27	29.45	22	133.06	31	126.18	25	7.67	20	14.67	27
南足柄市	382.99	10	37.14	17	169.64	10	166.14	8	7.79	19	16.76	19
綾瀬市	381.22	11	67.50	5	155.09	18	142.94	22	10.26	13	17.53	16
葉山町	371.04	13	24.23	27	194.05	3	143.64	19	7.86	18	22.89	6
寒川町	384.94	9	56.42	8	161.40	12	145.41	17	17.28	8	20.23	9
大磯町	359.47	16	23.96	28	181.53	7	147.54	16	4.75	31	18.76	13
二宮町	336.24	21	15.92	31	156.69	17	156.72	11	5.47	29	18.18	14
中井町	563.27	2	139.98	2	189.31	6	195.64	4	33.11	2	25.55	2
大井町	409.87	7	56.07	9	173.19	9	170.06	7	7.30	21	20.16	10
松田町	401.07	8	38.71	15	161.35	13	171.70	6	18.01	6	23.19	5
山北町	493.68	5	68.47	4	191.92	5	197.39	3	19.72	4	22.18	7
開成町	339.79	19	28.45	23	159.19	14	143.44	20	6.78	23	15.32	22
箱根町	526.65	3	62.81	6	229.95	2	199.51	2	19.02	5	13.62	30
真鶴町	359.44	17	36.27	18	152.28	20	158.22	9	8.13	17	16.10	21
湯河原町	348.01	18	33.91	19	148.92	23	149.98	15	11.66	9	14.26	29
愛川町	510.64	4	99.28	3	192.75	4	192.80	5	21.54	3	30.00	1
清川村	664.73	1	164.05	1	234.65	1	220.67	1	36.15	1	24.56	3

横浜地域	283.31	5	30.15	4	142.54	5	101.48	5	6.48	4	14.37	5
川崎地域	223.40	6	24.84	5	113.67	6	76.21	6	6.41	5	11.82	6
横須賀三浦地域	302.84	4	22.61	6	144.42	3	127.70	4	6.07	6	19.00	1
県央地域	331.91	2	43.29	2	144.29	4	131.57	3	9.78	2	15.68	4
湘南地域	326.47	3	31.68	3	152.50	2	132.40	2	7.68	3	16.95	2
県西地域	383.47	1	43.85	1	163.24	1	161.60	1	10.69	1	16.20	3

3-16~3-21 県勢要覧2023(令和5年度版)

### 注釈

3-16~3-21

1)2023年3月31日現在の値。

2)神奈川県総計には、駐留軍、不明、その他を含むため、市町村計とは一致しない。

3)人口1000人当たり台数の算出には、神奈川県人口統計調査の2023年4月1日現在の人口を用いた。

## 3-22 給水人口普及率 ▶▶ 10市町村で100%以上

**指標** 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で10市町村が給水人口普及率100%以上となっています。表中の数字は端数を四捨五入しているため、表記上100.00%でも順位に差が出ています。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 県生活衛生課調]

**用語** 上水道、簡易水道、専用水道

- ・上水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口5,001人以上のもの。
- ・簡易水道：一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業で、計画給水人口101人以上5,000人以下のもの。
- ・専用水道：水道法第3条第6項に定められた社宅、療養所等における101人以上の居住者に水を供給するもの、又は1日最大給水量が20m<sup>3</sup>を超えるもの。

## 3-23 公共下水道人口普及率 ▶▶ 1位 逗子市

**指標** 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で公共下水道人口普及率が最も高いのは逗子市で100%、最も低いのは真鶴町で21.91%です。

**この統計は** [県勢要覧2023(令和5年度版) 県下水道課調]

### 統計情報 県勢要覧

県勢要覧2023(令和5年度版)  
[県統計センター]  
公表日: 令和6年3月 公表周期: 毎年  
神奈川県土地、人口、経済、社会、文化などの各分野こわたる統計を収録したものです。

### 統計情報 一般廃棄物処理事業実態調査

令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査[環境省]  
公表日: 令和6年4月19日 公表周期: 毎年  
一般廃棄物行政の推進に関する基礎資料を得ることを目的として、全国の市町村等に対して行うものです。本調査結果は、ごみ・し尿の排出処理状況、事業経費・人員、処理施設の整備状況等について取りまとめたものです。

## 3-24 / 3-25 ごみの排出量(1人1日当たり) ▶▶ 1位 箱根町

うち家庭系ごみの排出量(1人1日当たり) ▶▶ 1位 湯河原町

**指標** 2022年度の神奈川県のごみの総排出量は269万4614tで、1人1日当たりのごみの排出量は801g/人日です。また、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は431g/人日です。

県内市町村で1人1日当たりのごみの排出量が最も多いのは箱根町で3326g/人日、最も少ないのは座間市で678g/人日です。

県内市町村で1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が最も多いのは湯河原町で808g/人日、最も少ないのは逗子市で344g/人日です。

**この統計は** [令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査]

**用語** ごみ総排出量、1人1人当たりのごみ排出量、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量

- ・ごみ総排出量 = 計画収集量 + 直接搬入量 + 集団回収量  
計画収集量：市町村が計画処理区域内でのごみ又はし尿を収集した量  
直接搬入量：ごみを排出者自らが処理施設に直接持ち込んだ量  
集団回収量：市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量
- ・1人1日当たりのごみ排出量  
= ごみ総排出量 / 総人口 / 365(年間の日数)
- ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量  
= 家庭系ごみ排出量 / 総人口 / 365(年間の日数)  
家庭系ごみ：生活から出されるごみ(生活系ごみ)から、資源化されるごみ(集団回収量、資源ごみ、直接搬入ごみのうち資源として利用されるもの)を差し引いた量

## 3-26 ごみのリサイクル率 ▶▶ 1位 鎌倉市

**指標** 2022年度の神奈川県のごみのリサイクル率は24.15%です。

県内市町村でごみのリサイクル率が最も高いのは鎌倉市で56.28%です。

**この統計は** [令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査]

**用語** リサイクル率

リサイクル率は、(直接資源化量 + 中間処理後再生利用量[固形燃料、焼却灰・飛灰のセメント原料化、セメント等への直接投入、飛灰の山元還元を除く] + 集団回収量) / (ごみ処理量 + 集団回収量) × 100により求めます。

市町村・地域名	給水人口普及率		公共下水道人口普及率		ごみの排出量 (1人1日当たり)		うち 家庭系ごみの排出量 (1人1日当たり)		ごみのリサイクル率	
	2022年	3-22	2022年	3-23	2022年	3-24	2022年	3-25	2022年	3-26
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
神奈川県	99.93		97.09		801		431		24.15	
横浜市	100.00	6	99.96	2	794	24	404	30	22.55	26
川崎市	100.00	8	99.57	3	767	27	444	21	19.00	28
相模原市	99.95	18	97.40	9	826	16	483	15	19.55	27
横須賀市	100.00	9	98.34	4	852	12	479	16	32.29	6
平塚市	99.92	25	97.79	5	818	20	458	17	25.04	18
鎌倉市	99.96	14	97.76	6	902	9	347	32	56.28	1
藤沢市	99.96	15	96.03	11	797	23	427	24	29.39	8
小田原市	97.62	33	83.43	24	936	6	542	9	22.72	25
茅ヶ崎市	100.07	4	95.79	12	710	32	410	28	26.27	15
逗子市	100.00	10	100.00	1	818	19	344	33	45.90	3
三浦市	99.99	11	35.64	32	979	5	432	23	37.12	4
秦野市	99.93	23	88.17	21	788	25	457	18	29.30	10
厚木市	99.73	27	89.60	20	823	17	412	26	25.27	17
大和市	99.95	21	95.52	13	743	28	411	27	25.91	16
伊勢原市	99.53	29	81.22	26	800	21	517	12	23.63	23
海老名市	100.00	5	96.36	10	714	31	357	31	29.45	7
座間市	99.95	17	97.75	7	678	33	405	29	28.53	12
南足柄市	100.39	3	75.06	28	845	14	545	8	24.04	21
綾瀬市	99.97	13	95.10	14	734	29	452	19	24.57	20
葉山町	99.98	12	76.22	27	927	8	418	25	49.46	2
寒川町	99.95	19	93.46	15	723	30	438	22	28.64	11
大磯町	99.91	26	86.02	22	890	11	527	10	28.04	14
二宮町	99.93	24	90.44	19	767	26	487	14	32.72	5
中井町	99.96	16	74.69	29	900	10	552	6	17.44	31
大井町	99.95	20	91.52	17	820	18	517	11	23.01	24
松田町	102.03	1	85.86	23	827	15	567	5	23.71	22
山北町	98.61	31	83.29	25	981	4	605	4	17.72	29
開成町	99.94	22	72.54	30	798	22	444	20	28.52	13
箱根町	100.66	2	54.64	31	3,326	1	777	2	5.27	33
真鶴町	98.64	30	21.91	33	1,124	3	770	3	17.48	30
湯河原町	100.00	6	92.68	16	1,447	2	808	1	14.14	32
愛川町	99.69	28	91.08	18	849	13	503	13	25.02	19
清川村	97.65	32	97.45	8	934	7	545	7	29.31	9

横浜地域	100.00	1	99.96	1						
川崎地域	100.00	2	99.57	2						
横須賀三浦地域	99.99	3	93.59	5						
県央地域	99.92	5	95.67	3						
湘南地域	99.94	4	93.79	4						
県西地域	98.72	6	80.53	6						

3-22～3-23 県勢要覧2023(令和5年度版)、3-24～3-26 令和4年度一般廃棄物処理事業実態調査

注釈

3-22

- 1)給水人口普及率=現在給水人口/行政区域内人口
- 2)行政区域内人口は「令和2年国勢調査確定値を基準とした推計人口」である。

3-23

- 1)2023年3月31日現在の値。
- 2)下水道処理人口普及率=処理区域人口/行政人口
- 3)行政人口は2023年3月31日現在の住民基本台帳人口。

3-24～3-26

- 1)2022年度の1年間の実績又は2022年度末(2023年3月31日現在の値)。
- 2)総人口は、2022年10月1日における住民基本台帳での人口を用いている。

3-27 / 3-28 / 3-29

## 入込観光客数 ▶▶ 1位 横浜市

**指標** 2023年中に神奈川県を訪れた観光客(入込観光客)の推計延人数(以下「入込観光客数」という)は1億9111万4262人です。

県内市町村で入込観光客数が最も多いのは横浜市で5429万940人で、次いで藤沢市が1960万8486人です。

入込観光客のうち宿泊者数が最も多い市町村は横浜市で836万4462人、次いで箱根町が393万8000人です。

入込観光客のうち日帰り客数が最も多い市町村は横浜市で4592万6478人で、次いで藤沢市が1895万2699人です。

県内地域別にみると、入込観光客が最も多いのは横浜地域、次いで湘南地域となっています。

**この統計は** [令和5年神奈川県入込観光客調査]

### 県内主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事別 観光客数TOP20 (2023年)

	名称	市町村名	観光客数 (千人)
1	湘南海岸・江の島	藤沢市	11,644
2	鶴岡八幡宮	鎌倉市	5,697
3	山崎(国道)	箱根町	5,291
4	各寺社	鎌倉市	4,252
5	箱根関所前(国道)	箱根町	3,497
6	乙女峠(国道)	箱根町	3,314
7	2023春節	横浜市	3,226
8	横浜港大さん橋国際客船ターミナル	横浜市	3,035
9	小田原城址公園	小田原市	2,780
10	箱根湯本駅	箱根町	2,525
11	夜にあらわれる光の横浜 (ヨルノヨ2023)	横浜市	2,420
12	宮ヶ瀬	清川村	2,353
13	ホケモンワールドチャンピオンシップス2023 横浜みなどみらいイベント	横浜市	2,300
14	三笠公園	横須賀市	1,977
15	三崎	三浦市	1,929
16	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎市	1,511
17	相模原麻溝公園	相模原市	1,442
18	江の島サムエル・コッキング苑	藤沢市	1,372
19	ヴェルニー公園	横須賀市	1,333
20	クリスマスマーケット in 横浜赤レンガ倉庫	横浜市	1,330

※「令和5年神奈川県入込観光客調査」にて観光客数が公表されている主要観光地点・主要観光施設・主要観光行事について掲載しています。

**この統計は** [令和5年神奈川県入込観光客調査]

3-30 / 3-31 / 3-32 / 3-33

## 観光客消費額 ▶▶ 1位 藤沢市

### うち観光客宿泊費 ▶▶ 1位 箱根町

**指標** 2023年の神奈川県内の観光客消費額は4323億1597万5千円で、内訳は宿泊費が1204億639万5千円、飲食費が1634億8836万5千円、その他消費額が1484億2121万4千円です。

県内市町村で観光客消費額が最も高いのは藤沢市で1085億7662万7千円、次いで箱根町が899億4135万2千円、鎌倉市が780億8242万8千円です。

内訳をみると、飲食費とその他消費額は藤沢市が1位、鎌倉市が2位となっていますが、観光客宿泊費は箱根町が1位、鎌倉市が2位となっています。

なお、観光客消費額については、横浜市を含む9市町村で調査未実施となっております。

**この統計は** [令和5年神奈川県入込観光客調査]

### **用語** 宿泊費、飲食費、その他消費額

神奈川県入込観光客調査では、標準日実数調査、観光施設利用者数調査等から、県内観光客の入込状況を推計しています。

観光客消費額は以下のとおり算出しています。

#### 宿泊費

宿泊施設利用者調査から算出しています。

宿泊費 = 宿泊者数 × 一人当たりの平均宿泊費

#### 飲食費

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

飲食費 = 観光客数 × 一人当たりの平均飲食費

#### その他の消費額

##### ①観光施設入場料

有料施設の調査から算出しています。

##### ②土産品代

標準日実数調査の際のアンケート調査から算出しています。

土産代 = 観光客数 × 一人当たりの平均土産品代

### 統計情報 神奈川県入込観光客調査

令和5年神奈川県入込観光客調査

[県文化スポーツ観光局観光課]

公表日: 令和6年8月9日 公表周期: 毎年

神奈川県内の各観光地を訪れる観光客の入込状況を把握し、県・市町村の観光施策の基礎資料とするものです。

市町村・地域名	入込観光客数		うち 宿泊客数		うち 日帰り客数		観光客消費額		うち 観光客宿泊費		うち 飲食費		うち その他消費額	
	2023年 3-27	3-27	2023年 3-28	3-28	2023年 3-29	3-29	2023年 3-30	3-30	2023年 3-31	3-31	2023年 3-32	3-32	2023年 3-33	3-33
	値	順位												
	人		人		人		千円		千円		千円		千円	
神奈川県	191,114,262		17,919,191		173,195,071		432,315,975		120,406,395		163,488,365		148,421,214	
横浜市	54,290,940	1	8,364,462	1	45,926,478	1	-		-		-		-	
川崎市	15,726,263	4	966,456	3	14,759,807	4	-		-		-		-	
相模原市	9,585,211	6	447,910	6	9,137,301	6	4,353,848	12	3,982,635	7	197,349	20	173,864	20
横須賀市	8,911,384	7	336,468	10	8,574,916	7	43,846,835	4	6,100,165	5	16,040,880	4	21,705,789	3
平塚市	6,921,177	9	144,865	13	6,776,312	9	2,667,155	14	1,043,028	12	1,500,127	12	124,000	21
鎌倉市	12,284,233	5	421,085	8	11,863,148	5	78,082,428	3	12,948,432	2	43,229,310	2	21,904,686	2
藤沢市	19,608,486	2	655,787	4	18,952,699	2	108,576,627	1	6,138,166	4	44,732,091	1	57,706,370	1
小田原市	8,325,948	8	423,034	7	7,902,914	8	35,166,763	5	5,417,798	6	11,315,316	5	18,433,649	4
茅ヶ崎市	2,812,524	13	132,230	15	2,680,294	13	6,374,690	9	726,045	14	4,047,969	8	1,600,676	11
逗子市	852,889	24	17,951	24	834,938	23	968,942	20	405,921	18	370,831	18	192,190	19
三浦市	4,708,800	10	275,800	11	4,433,000	11	8,896,831	8	2,451,263	9	4,377,551	7	2,068,017	8
秦野市	4,547,754	11	70,080	18	4,477,674	10	5,788,234	10	465,131	16	493,928	14	4,829,175	7
厚木市	2,096,170	16	398,378	9	1,697,792	17	18,869,378	6	2,701,533	8	10,273,655	6	5,894,190	5
大和市	856,073	23	90,473	17	765,600	24	-		-		-		-	
伊勢原市	1,835,678	17	105,219	16	1,730,459	16	1,926,177	17	629,688	15	695,606	13	600,883	15
海老名市	617,652	26	163,915	12	453,737	28	1,588,408	18	1,297,370	11	269,362	19	21,676	23
座間市	301,203	30	-		301,203	30	-		-		-		-	
南足柄市	1,093,548	21	66,891	19	1,026,657	21	1,206,939	19	73,738	21	385,684	17	747,517	14
南綾市	137,349	33	-		137,349	33	-		-		-		-	
葉山町	637,896	25	33,648	22	604,248	25	5,210,449	11	745,177	13	2,551,584	9	1,913,688	9
寒川町	2,164,020	15	-		2,164,020	15	-		-		-		-	
大磯町	1,198,542	20	140,546	14	1,057,996	20	2,767,756	13	1,491,636	10	453,934	15	822,186	13
二宮町	578,602	27	-		578,602	26	-		-		-		-	
中井町	233,525	32	-		233,525	32	-		-		-		-	
大井町	375,196	29	29	27	375,167	29	7,072	24	506	24	872	24	5,694	24
松田町	577,306	28	4,738	26	572,568	27	2,102,931	16	13,098	23	396,853	16	1,692,980	10
山北町	1,547,213	18	44,915	21	1,502,298	18	569,695	23	340,663	19	36,260	23	192,772	18
開成町	251,547	31	-		251,547	31	-		-		-		-	
箱根町	19,510,000	3	3,938,000	2	15,572,000	3	89,941,352	2	66,551,319	1	17,868,553	3	5,521,480	6
真鶴町	1,017,303	22	20,681	23	996,622	22	2,334,600	15	147,334	20	1,989,323	11	197,943	17
湯河原町	3,914,052	12	596,699	5	3,317,353	12	9,848,070	7	6,265,338	3	2,089,929	10	1,492,803	12
愛川町	1,242,947	19	51,664	20	1,191,283	19	612,640	21	448,028	17	125,740	21	38,872	22
清川村	2,352,831	14	7,267	25	2,345,564	14	608,156	22	22,384	22	45,658	22	540,114	16

横浜地域	54,290,940	1	8,364,462	1	45,926,478	1	-		-		-		-	
川崎地域	15,726,263	6	966,456	6	14,759,807	6	-		-		-		-	
横須賀三浦地域	27,395,202	4	1,084,952	5	26,310,250	4	137,005,485	2	22,650,958	2	66,570,156	1	47,784,370	2
県央地域	17,189,436	5	1,159,607	4	16,029,829	5	26,032,430	4	8,451,950	4	10,911,764	4	6,668,716	4
湘南地域	39,666,783	2	1,248,727	3	38,418,056	2	128,100,639	3	10,493,694	3	51,923,655	2	65,683,290	1
県西地域	36,845,638	3	5,094,987	2	31,750,651	3	141,177,422	1	78,809,794	1	34,082,790	3	28,284,838	3

3-27~3-33 令和5年神奈川県入込観光客調査

注釈

3-27~3-33

1)2023年中の値。

2)表中「-」で示したものは、調査未実施のため推計できなかったものである。

3-30~3-33

1)数字の単位未満は、四捨五入してあるので、合計の数値と内訳の計が一致しない場合がある。

3-34

## 県内市町村の審議会等委員の女性比率 ▶▶ 1位 横浜市

**指標** 2023年度の神奈川県内市町村の審議会等委員の女性比率は32.41%です。

県内市町村で審議会等委員の女性比率が最も高いのは横浜市で40.99%(2576人のうち1056人)、最も低いのは松田町で15.79%(304人のうち48人)です。

なお、神奈川県庁では審議会等委員1878人のうち626人が女性で、その比率は33.33%です。

**この統計は** [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)]

### 用語 審議会等

地方自治法第202条の3に基づき設置された附属機関をいいます。審議会等は、その担任する事項について調停、審査、審議又は調査等を行っています。

3-35

## 県内市町村職員の管理職の女性比率 ▶▶ 1位 南足柄市

**指標** 2023年度の神奈川県内市町村職員の管理職の女性比率は17.83%です。

県内市町村で管理職の女性比率が最も高いのは南足柄市で26.67%(45人のうち12人)、最も低いのは箱根町で3.03%(33人のうち1人)です。

なお、神奈川県庁では管理職1017人のうち150人が女性で、その比率は14.75%です。

**この統計は** [地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)]

### 用語 管理職

教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員を対象に、課長相当職以上の職を管理職としています。

国家公務員の身分で地方公共団体に出向している職員などは含みません。

### 統計情報 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)[内閣府男女共同参画局]

公表日:令和5年12月27日 公表周期:毎年

全国の地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況を把握し取りまとめた結果を情報提供することによって、今後の男女共同参画の施策の展開に資するものです。

### 統計情報 ふるさと納税に関する現況調査結果

ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)[総務省]

公表日:令和6年8月2日 公表周期:毎年

ふるさと納税受入額等の実績、住民税控除額等の実績についてとりまとめたものです。

3-36

## ふるさと納税受入額 ▶▶ 1位 鎌倉市

**指標** 2023年度の神奈川県内のふるさと納税受入額は169億5924万9千円です。このうち神奈川県庁(県民税分)におけるふるさと納税受入額は1億7240万6千円です。

県内市町村でふるさと納税受入額が最も多いのは鎌倉市で20億5196万8千円、次いで箱根町で17億3252万7千円です。

**この統計は** [ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)]

### 用語 ふるさと納税

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体(都道府県及び市区町村)に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です。

2023年度のふるさと納税受入額は、各自治体に対する寄付について、2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の決算見込みの状況を取りまとめたものです。

3-37

## ふるさと納税に係る住民税控除額 ▶▶ 1位 横浜市

**指標** 神奈川県内の令和6年度課税におけるふるさと納税に係る住民税控除額は、796億2518万9千円で、ふるさと納税受入額を上回っています。このうち、県民税控除額は199億9933万6千円です。

県内市町村で令和6年度課税におけるふるさと納税に係る住民税控除額が最も多いのは横浜市で304億6708万3千円で、次いで川崎市が135億7805万7千円です。全国の市町村の中でも、横浜市は1位、川崎市は4位となっています。

**この統計は** [ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)]

### 用語 ふるさと納税に係る住民税控除額

総務省では、例年実施している「市町村税課税状況等の調」の調査票をもとに、寄附金税額控除に係る数値について、事前に調査しとりまとめています。令和6年度調査は、前年中(令和5年1月1日～令和5年12月の間)のふるさと納税に係る令和6年度課税における控除適用状況(令和6年6月1日時点)を調査したものです。ふるさと納税に係る住民税控除額は、この調査をもとに算出しています。

ふるさと納税に係る住民税控除は、道府県民税と市町村民税それぞれに適用されます。

市町村・地域名	県内市町村の審議会等委員の女性比率		県内市町村職員の管理職の女性比率		ふるさと納税受入額		ふるさと納税に係る住民税控除額	
	2023年	3-34	2023年	3-35	2023年	3-36	2024年	3-37
	値	順位	値	順位	値	順位	値	順位
	%		%		千円		千円	
神奈川県	32.41		17.83		16,959,249		79,625,189	
横浜市	40.99	1	19.47	9	1,186,197	5	30,467,083	1
川崎市	34.85	7	18.21	11	1,605,705	3	13,578,057	2
相模原市	36.17	4	22.87	4	629,665	10	3,366,176	3
横須賀市	29.25	17	11.68	23	455,693	13	961,506	8
平塚市	27.20	24	18.60	10	170,962	20	799,288	9
鎌倉市	40.10	2	10.74	28	2,051,968	1	1,261,154	5
藤沢市	31.42	13	16.27	14	383,507	15	2,438,683	4
小田原市	31.65	12	11.25	25	1,123,383	6	618,014	12
茅ヶ崎市	27.59	22	25.26	2	172,262	19	1,126,016	6
逗子市	30.97	14	14.52	18	232,606	17	354,525	15
三浦市	17.86	32	16.00	16	772,621	9	69,327	23
秦野市	27.34	23	20.31	7	284,282	16	398,587	13
厚木市	31.76	11	13.37	20	1,065,802	7	783,026	10
大和市	30.96	15	13.33	21	79,098	24	970,478	7
伊勢原市	28.17	18	16.24	15	34,823	30	346,529	16
海老名市	24.06	28	15.74	17	991,254	8	642,256	11
座間市	33.13	9	20.99	6	143,100	21	369,659	14
南足柄市	33.45	8	26.67	1	1,347,894	4	90,221	21
綾瀬市	36.46	3	16.42	13	500,051	12	184,795	18
葉山町	32.52	10	5.88	32	61,135	26	194,441	17
寒川町	35.04	6	20.00	8	58,181	27	106,432	20
大磯町	26.74	25	13.64	19	38,403	28	124,612	19
二宮町	27.99	19	11.11	26	3,129	33	88,049	22
中井町	22.98	30	6.67	30	136,313	22	13,162	31
大井町	24.79	27	6.67	30	28,271	31	35,210	27
松田町	15.79	33	23.08	3	136,027	23	26,706	28
山北町	27.78	20	21.05	5	438,717	14	12,841	32
開成町	27.69	21	17.65	12	207,401	18	68,192	24
箱根町	23.50	29	3.03	33	1,732,527	2	15,931	30
真鶴町	22.50	31	7.69	29	8,135	32	17,011	29
湯河原町	25.00	26	11.43	24	608,637	11	43,581	26
愛川町	29.37	16	11.11	26	61,692	25	50,596	25
清川村	35.43	5	12.50	22	37,400	29	3,712	33
(参考) 県庁	33.33		14.75		172,406		19,999,336	

横浜地域	40.99	1	19.47	1	1,186,197	5	30,467,083	1
川崎地域	34.85	2	18.21	4	1,605,705	4	13,578,057	2
横須賀三浦地域	31.51	4	11.86	6	3,574,024	2	2,840,953	5
県央地域	33.47	3	18.36	3	3,508,062	3	6,370,698	3
湘南地域	28.83	5	18.61	2	1,145,551	6	5,428,196	4
県西地域	26.26	6	13.15	5	5,767,304	1	940,868	6

3-34～3-35 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(令和5年度)、  
3-36～3-37 ふるさと納税に関する現況調査結果(令和6年度実施)

注釈

3-34～3-35

1)原則として2023年4月1日現在の値であるが、各地方公共団体の事情により異なる場合がある。

3-34

1)「神奈川県」の数値は市町村の計であり、県庁及び広域圏で設置している審議会等を含まない。

3-35

1)「神奈川県」の数値は市町村の計であり、県庁を含まない。

3-36

1)各地方団体(都道府県及び市区町村)に対する寄附について、令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の決算見込の状況をとりまとめたものである。

2)県庁の値は県庁におけるふるさと納税受入額。神奈川県の数値は市町村における受入額と県庁における受入額の合計値。

3-37

1)前年中(令和5年1月1日～令和5年12月の間)のふるさと納税に係る令和6年度課税における適用状況(令和6年6月1日時点)を調査したもの。

2)市町村の値は市町村民税控除額、県庁の値は県民税控除額。神奈川県の数値は市町村民税控除額と県民税控除額の合計値。



**Q.1** 県内市町村で持ち家の1住宅当たり延べ面積が最も大きいのはどこ？(2023年10月1日現在)

- A.**
- ① 大井町
  - ② 葉山町
  - ③ 大磯町

**Q.2** 県内市町村で1人当たりの都市公園面積が最も大きいのはどこ？(2022年3月31日現在)

- A.**
- ① 相模原市
  - ② 愛川町
  - ③ 大磯町

**Q.3** 県内市町村で公共図書館における1人当たり個人貸出冊数が最も多いのはどこ？(2022年度)

- A.**
- ① 大和市
  - ② 海老名市
  - ③ 二宮町

**Q.4** 県内地域で人口1000人当たりの登録自動車数が最も多いのはどこ？(2023年3月31日現在)

- A.**
- ① 横須賀三浦地域
  - ② 県央地域
  - ③ 県西地域

**Q.5** 県内市町村で1人1日当たりのごみの排出量が最も少ないのはどこ？(2022年度)

- A.**
- ① 座間市
  - ② 綾瀬市
  - ③ 寒川町

**Q.6** 県内市町村で入込観光客数が最も多いのは横浜市ですが、2番目はどこ？(2023年中)

- A.**
- ① 鎌倉市
  - ② 藤沢市
  - ③ 箱根町

**Q.7** 県内市町村職員の管理職の女性比率が最も高いのはどこ？(2023年度)

- A.**
- ① 横浜市
  - ② 茅ヶ崎市
  - ③ 南足柄市

**Q.8** 県内市町村でふるさと納税受入額が最も多いのはどこ？(2023年度)

- A.**
- ① 鎌倉市
  - ② 小田原市
  - ③ 箱根町

答えは80ページ ▶